

一般社団法人日本形成外科学会
2025 年度小児形成外科分野指導医認定試験

2025 年 10 月 17 日(金) 筆記試験 13 時 00 分～13 時 30 分【30 分】
場所:〒890-0053 鹿児島県鹿児島市中央町 19-40 Li-Ka1920
ライカ南国【5 階】第 4 会場 (RoomC)

※本書は試験終了後回収いたします。

氏名	
----	--

《1》位置的頭蓋変形 (positional/deformational skull deformity) について正しいのはどれか。

選択肢

- a) ハーレークイン眼窩を呈する
- b) 重症の場合、手術適応になる
- c) 頭頂部からみたときに台形を呈する
- d) 重症度分類に Pruzansky 分類がある
- e) 片側の扁平化した後頭部と同側の耳が前方に偏位する

《2》口唇口蓋裂患児の鼻咽腔閉鎖機能評価において、動態を直接観察する方法として最も適切なのはどれか。

選択肢

- a) 超音波検査 (Ultrasonography)
- b) 鼻咽腔造影 (Videofluoroscopy)
- c) 気流測定法 (Aerodynamic assessment)
- d) 経鼻的鼻咽腔内視鏡検査 (Nasopharyngoscopy)
- e) 聴覚的言語評価 (Perceptual speech assessment)

《3》小耳症について正しいのはどれか。

選択肢

- a) 通常 8-9 才で手術を行う
- b) 外耳道狭窄・閉鎖は伴わない
- c) 使用する肋軟骨は第 V から第 X 肋軟骨であることが多い
- d) Goldenhar 症候群を伴う小耳症では再建耳介が収縮しない
- e) 術後合併症として環軸椎亜脱臼 (回旋位固定) を考慮する

《4》巨指症において肥大する組織はどれか、三つ選べ。

選択肢

- a) 血管
- b) 腱
- c) 骨
- d) 脂肪
- e) 神経

《5》漏斗胸に関し誤っているのはどれか。

選択肢

- a) Haller index は胸郭の陥凹度の指標である
- b) ナス法では特に乳幼児期での手術が薦められる
- c) ナス法でのバー挿入期間は最短でも5年以上が推奨される
- d) ナス法での合併症は早期合併症と晩期合併症に大別される
- e) マルファン症候群では漏斗胸を合併する疾患の一つである

《6》生後11か月、体重9.7kgの男児。左足多合趾症に対して全身麻酔下の手術予定である。他に併存疾患はない。周術期管理について正しいのはどれか。

選択肢

- a) 注射生ワクチンの予防接種は手術予定日の前日まで許可する
- b) 術前の清澄水（クリアウォーター）の摂取は麻酔導入の5時間前までとする
- c) 1時間あたりの必要水分量は約40mlである
- d) 術直後の輸液にはグルコース無添加の維持輸液を用いる
- e) 術後、嘔気に対してメトクロプラミド（プリンペラン®）を投与する

《7》リンパ管腫（リンパ管奇形）の治療として適さないのを二つ選べ。

選択肢

- a) 手術
- b) 漢方薬
- c) 硬化療法
- d) プロプラノロール
- e) MEK (Mitogen-activated Extracellular signal-regulated Kinase) 阻害剤

《8》手指の熱傷後瘢痕について、誤っているのはどれか、二つ選べ。

選択肢

- a) 小児では瘢痕拘縮を起こしにくい。
- b) 瘢痕拘縮は手指の伸側に生じやすい。
- c) 瘢痕拘縮が生じた場合には手術治療を行う。
- d) Z形成術や植皮術による治療が行われる。
- e) 植皮術の採皮部としては内顔下部や足底部がよく用いられる

裏面にも問題がございます（全10問です）

《 9 》 小児の外傷・熱傷について正しいのはどれか、二つ選べ

選択肢

- a) 若木骨折を生じやすい
- d) 熱傷面積の判定には 9 の法則が使用される
- c) 成人に比して眼窩底骨折では linear 型の頻度が低い
- d) 上腕骨顆上骨折の合併症としてフォルクマン拘縮がある
- e) 熱傷においてはトキシックショック症候群発症の頻度は成人よりも低い

《 10 》 皮膚病変の主症状として、褐色斑が見られる疾患はどれか、二つ選べ。

選択肢

- a) Albright 症候群
- b) Maffucci 症候群
- c) Klippel-Trenaunay 症候群
- d) Recklinghausen 病（神経線維腫症 I 型）
- e) Cutis marmorata telangiectatica congenita